

胃がん検診について —安全に検診を受けていただくために—

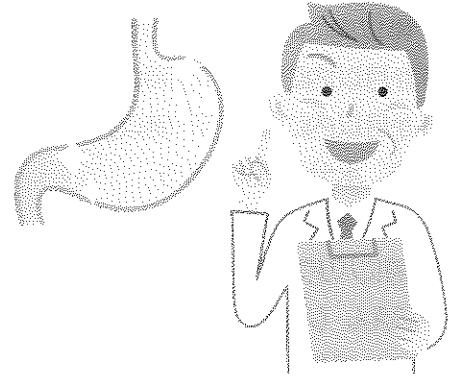
猪名川町の胃がん検診は、個別検診（胃内視鏡検査：胃カメラ）と集団検診（胃部X線検査：バリウム）があります。それぞれ対象年齢、申込方法、金額が異なりますので、案内文をご確認のうえ、お申込みください。また、個別検診（胃内視鏡検査：胃カメラ）は2年に1回の検診になります。翌年は集団検診（胃部X線検査）も受けることはできません。

胃がん検診は身体に負担のある検査になりますので、受診していただけない場合があります。必ず、下記の項目をご確認のうえお申込みください。

1 個別検診、集団検診のいずれも受けていただけない方

※ 必ずご確認ください □に1つでも当てはまる方は受けられません

- 妊娠中、またはその可能性がある方
- 前年度に、胃内視鏡検査による胃がん検診を受診した方
- 胃・腸疾患で現在治療中・経過観察中の方（ピロリ菌除菌中の方含む）
- 呼吸不全のある方、常時酸素吸入をしている方
- 急性心筋梗塞や重篤な不整脈など心疾患のある方



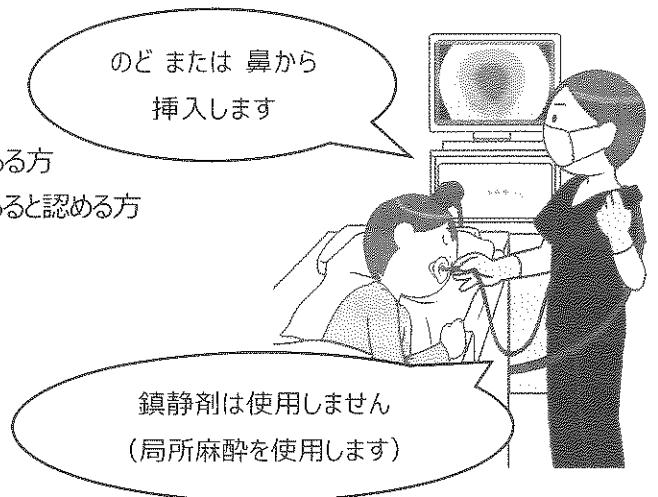
2 個別検診（胃内視鏡検査：胃カメラ）対象：50歳以上（令和9年3月末時点年齢）

胃内視鏡検査は、のどまたは鼻を局所麻酔をしてから、内視鏡を挿入し、食道・胃・十二指腸を観察して診断を行います。（検診では鎮静剤は使用しません）

食道・胃・十二指腸の炎症・ポリープ・がんなどの病気を発見する最も精度の高い検査ですが、検査を行うことで起こりうる合併症があり、また、安全のために受診していただけない場合があります。必ず、下記の事項をお読みいただき、お申込みください。また、過去に胃腸や食道等消化器系の手術、もしくは消化器系の組織検査等を受けた方、あるいは消化器以外（例えば心臓・甲状腺など）の手術を受けた方で、現在も継続して治療中・経過観察中の方は、主治医に胃内視鏡検査の受診が可能かを確認してください。

（1）検査を受けられない方 ※必ずご確認ください

- ① 勤務先などにおいて、同様の胃がん検診を受診する機会のある方
- ② 医師が診察した結果、胃がん検診を受診することが困難であると認める方
- ③ 同意書の取得ができない方
- ④ 咽頭・鼻腔などに疾患があり、内視鏡の挿入ができない方
- ⑤ 明らかに出血しやすい方、またはその疑いのある方
- ⑥ 血圧が極めて高い方

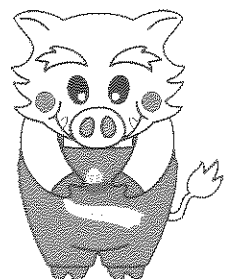


（2）起こりうる合併症について

日本消化器内視鏡学会が5年ごとに行う全国集計では、以下の合併症発症率は0.005%、死亡率は0.00019%と報告されています。このような偶発性を避けるよう細心の注意を払いますが、万一生じた場合は、最善の対処をいたします。検査後に医療を実施する場合は、保険診療により対応します。

- ① 粘膜裂傷、出血、穿孔
- ② 使用する薬剤（麻酔剤など）によるショックなど
- ③ 誤えん性肺炎、歯の損傷
- ④ 治療中の病気（脳梗塞・心筋梗塞など）の悪化

胃内視鏡検査の保健センターへのお申込みは4月1日(水)からです

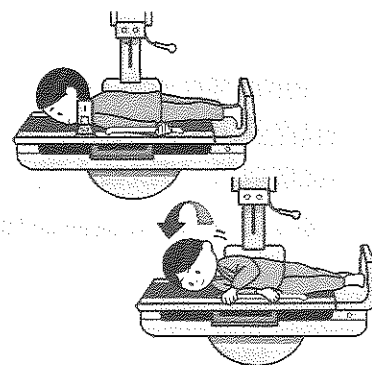
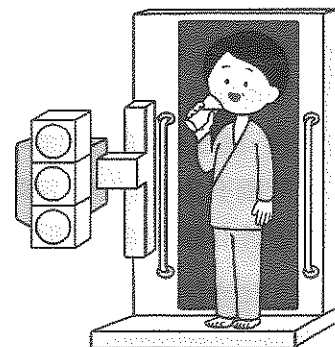


3 集団検診（胃部X線検査） 対象：35歳以上（令和9年3月末時点年齢）

胃部X線検査は、絶飲食の状態、発泡顆粒（胃を膨らます薬）とバリウムを飲み、X線撮影を行います。検査の際に検査台が動いたり、ご自身で体を動かしていただきます。

（1）検査を受けられない方 ※必ずご確認ください

- ① 消化器の病気【例：腸閉塞、腸ねん転、胃や腸に穿孔（穴があく）や出血、狭窄（せまくなっているところ）がある】の既往がある・治療中・疑いがある方と、食道・胃・腸に憩室炎があり治療中の方
- ② 1年以内に胃腸等の腹部や食道手術をした方
- ③ 3か月以内に食道・胃・腸の組織検査（バイオプシー・生検）、ポリープ切除、潰瘍の治療をした方
- ④ 3か月以内に食道・胃・腸以外に手術をした方（例えば、甲状腺・心臓・関節など）
- ⑤ 現在、水分制限のある方
- ⑥ 腎臓に病気のある方
- ⑦ 以前にバリウムを飲んで浣腸を使用したり、医療機関を受診するほどのひどい便秘をした方や誤えん（バリウムが肺に入った）のあった方・検査中に誤えんの見つかった方
- ⑧ 過去にバリウム・発泡剤でじんましん、おう吐等が生じた方（バリウムアレルギーや過敏症）
- ⑨ 検査当日、血圧が高い方（収縮期血圧 180mmHg 以上の方、または拡張期血圧 110mmHg 以上の方）
* 検診当日、安全のために血圧測定を行います
- ⑩ 検査当日の体調不良、検査中に気分が悪くなった方
- ⑪ 検査前の絶食や食事制限を守ることができない方
- ⑫ 現在、運動制限がある・体力的に不安があるなどで検査の際に体位変換が困難な方（検診台で、ご自身で体を動かしたり、検診台が向きを変える際、バーを握り体を支えていただく必要があります）
- ⑬ 体重が 130 kg 以上の方



（2）次のいずれかに該当する方は、検査を受ける前に必ず主治医にご相談ください

- ① 現在治療中であり、お薬を飲まれている方
特に、インシュリン注射または、血糖を下げるお薬を飲まれている方は、薬の服用時間や注射する時間について、必ず主治医にご相談ください。
- ② 高血圧や腰痛などで治療中の方
- ③ 食道・胃・腸に憩室のある方
- ④ 誤えんや「せきこみ」「むせ」などを起こしたことのある方・起こしやすい方

〈お申込み・お問い合わせ先〉

猪名川町生活部住民課健康づくり室（保健センター）

電話：072-766-1000